



Power
Supply
Business

IRハンドブック

第44期のご報告

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)



Maintenance
Business



Supplementary
Equipment
Business



代表取締役社長

合田 正彦

エージーピーグループ理念

社会から信頼を受ける会社を目指

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第44期の事業の概況等についてご報告させていただきます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米欧発の金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響を受けて企業収益・雇用環境が急激に悪化し、未だ回復の兆しが見えない深刻な状況に立ち至っております。また航空業界も、景気の悪化に伴って下半期から旅客・貨物需要の落ち込みが顕著となり、従来にない収支改善策が打ち出される等、極めて厳しい状況に直面しております。

このような状況の中、当社グループの売上高は119億円で、前期に比べ1億61百万円(1.3%)の減収となりました。営業費用につきましては、業務拡大による委託業務費の増があったものの、原材料費等のコスト削減に努めた結果、前期比1億61百万円(1.5%)減の109億40百万円となりました。この結果、営業利益は前期並みの9億60百万円となりました。

経常利益は、借入金の減少に伴う支払利息の減により営業外

損益が前期に比べて20百万円改善したため、19百万円(2.2%)増の9億9百万円となりました。これに固定資産除却損等を加えた税金等調整前当期純利益は9百万円(1.1%)減の8億68百万円となり、法人税、住民税及び事業税ならびに法人税等調整額を加味した当期純利益は5億5百万円、前期比4百万円(0.8%)の微増となりました。

なお当社はこのたび新社長に広池君夫を迎え、新たな経営体制により更なる経営基盤の強化を図ります。当社グループはこれからも、品質と技術の向上に力を注ぐとともに、事業の推進をとおして空港におけるCO₂排出抑制および騒音の低減を図り、空港環境の向上と地球環境の浄化保全ならびに介護・福祉分野に貢献しながら社業の発展に邁進してまいります。

当社グループでは中長期の経営戦略策定にあたり、期間を3年とした中期事業計画を毎年更新するローリング方式を採用し、毎期決算発表時に新たな中期事業計画を公表してまいりました。しかしながら、航空業界を取り巻く経営環境が昨秋以降急激に変化している状況を踏まえ、2009～2011年度の中期事業計画につきましては、より慎重に精査し、2009年度上期末までに策定することとし、成案を得次第速やかに開示いたします。

株主の皆さまには、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

し、社会の繁栄と地球環境の浄化保全に貢献する

業界の動向と次期の見通し

今後の航空業界は、2010年3月の成田空港平行滑走路2,500m化による発着枠の拡大や、2010年10月の羽田空港第4滑走路の供用開始と国際線ターミナルの新設により大幅な需要増が見込まれますが、そこに至るまでの間は厳しい経営環境が続くものと思われまます。また空港運営会社においても、民営化や東アジアの空港との競争等に向けて、より効率的な運営を志向されるものと思われまます。

このような状況の中、当社グループは技術力やコスト競争力の強化を図るとともに、ビジネスチャンスを実際に取り込んで業績の向上に一層努めてまいります。

2010年3月期の見通しにつきましては、動力事業では、長崎空港動力設備の通年化および成田空港第7貨物・R誘導路地区動力設備の供用開始による供給増を見込むものの、航空各社の減便・運休や機材小型化の影響等により減収が

避けられない見通しです。

整備事業では、景気悪化の影響を受けて先送りされた施設・設備類の更新・修繕作業をある程度取り込めると想定するものの、成田空港での施設管理業務等の減により減収となる見込みです。

付帯事業では、成田空港での受託手荷物検査装置の運用管理業務の通年化、フードカート販売での増、千歳空港での国際線手荷物搬送設備施工管理業務の受託、移動機材等の販売や貸出しにより増収を見込んでおります。

以上により、2010年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は117億64百万円(前期比1.1%減)を見込んでおります。経常利益につきましては、5億23百万円(前期比42.5%減)を計画し、当期純利益につきましても、2億95百万円(前期比41.5%減)を見込んでおります。

■ 2009年3月期の実績 (2008.4.1~2009.3.31)

| | |
|---------|--------|
| 連結売上高 | 119億円 |
| 連結経常利益 | 9億9百万円 |
| 連結当期純利益 | 5億5百万円 |

■ 2010年3月期の見通し (2009.4.1~2010.3.31)

| | |
|---------|-----------|
| 連結売上高 | 117億64百万円 |
| 連結経常利益 | 5億23百万円 |
| 連結当期純利益 | 2億95百万円 |

事業別概況

■ セグメント別売上高（連結）



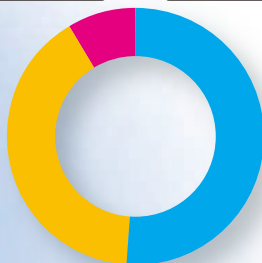
付帯事業

1,054百万円
8.9%



動力事業

5,794百万円
48.7%



整備事業

5,051百万円
42.4%

動力事業 営業利益（連結） **961**百万円（前期比+55百万円）

整備事業 営業利益（連結） **612**百万円（前期比-127百万円）

付帯事業 営業利益（連結） **129**百万円（前期比+65百万円）

連結営業利益 **960**百万円（前期比-269千円）

注）上記の事業別営業利益は、全社に係る販売費及び一般管理費控除前の金額

動力事業

POWER SUPPLY BUSINESS



GPU固定式：電力

2008年4月に那覇空港で1スポット、2009年2月に新たに進出した長崎空港で4スポットに動力供給設備の増強を行いました。また、航空各社の航空機小型化や下半期以降の路線休止・減便による影響を受けたものの、環境意識の高まりの中、上半期の原油価格の高騰に伴って当社動力供給設備のコスト優位性が増したことにより、国内外航空会社の利用が伸びた結果、売上高は前期と比べ1億65百万円（2.9%）増の57億94百万円となりました。

営業利益は、原材料費・整備維持費の増加があったものの、前期と比べ55百万円（6.2%）増の9億61百万円となりました。

今後につきましては、大きな需要が期待できる羽田空港の国際線ターミナル地区への動力供給設備の設置を遺漏なく進める一方、成田空港の発着枠拡大に伴うスポットの整備・拡充計画に合わせ動力供給設備の増強を積極的に推進します。また、国土交通省の提唱するエコエアポート構想に歩調を合わせて準幹線空港への展開にも取り組み、事業の拡大を図ります。更に、新型航空機（A380、787）への設備対応も着実に進めてまいります。

整備 事業

MAINTENANCE BUSINESS



手荷物搬送設備

成田空港・関西空港での手荷物搬送設備増強に伴う基本契約での増収があったものの、沖縄でのホテル保守・管理業務での減収や、各空港での顧客企業の経費節減施策による施設・設備類の更新・修繕作業の先送りが顕著となった結果、売上高は前期と比べ3億33百万円(6.2%)減の50億51百万円となりました。

営業利益は、原材料費等の費用削減に努めたものの、前期に比べ1億27百万円(17.2%)減の6億12百万円となりました。

今後につきましては、2008年度先送りされた更新・修繕作業の取り込みを努めるとともに、今後の空港内施設・設備の整備計画に基づき発生する新たな需要に対して、特殊設備保守管理業務のノウハウと24時間体制の強みを生かした積極的な提案型営業を展開し、受託業務の拡大を目指します。更に、当社グループが得意とする物流設備の保守管理業務分野で、メーカー等との連携を強化し、空港内外施設の管理業務の受託拡大を目指します。



旅客搭乗橋

付帯 事業

SUPPLEMENTARY EQUIPMENT BUSINESS



キャリア(ターミナルにドッキング)



ターミナル

IH加熱カート(セパレートタイプ)

前期に大きな収入のあった中部空港向け航空機用地上電源装置の販売が当期は見送られたものの、成田空港での受託手荷物検査装置の運用管理業務の新規受託による増収やフードカート販売での増収の結果、売上高は前期と比べ6百万円(0.6%)増の10億54百万円となりました。

営業利益は、成田空港での増収に伴う委託役務費の増加があった一方、電源装置の販売減に伴う原材料費の減少により、前期と比べ65百万円(101.6%)増の1億29百万円となりました。

今後につきましては、フードカート事業は買い換え需要や病院および介護施設の設備投資の回復に合わせた新規案件が期待できることから、組織を効率的に運営し収支の改善に努めてまいります。



ブレーキクリーニングカート

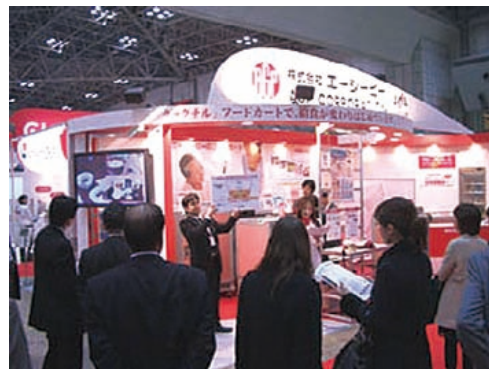
また、受託手荷物検査装置の運用管理業務や空港内特殊設備にかかわる技術支援業務の受託に向けた営業を推進します。

フード・ケータリングショーに出展しました



当社付帯事業の中核商品であるフードカートについて、長期的な売上拡大を図るため、顧客要望をとらえた新商品開発と、魅力ある商品の投入に取り組んでおります。その一環として、今年も2月に東京ビッグサイト（有明・東京国際展示場）にて開催された「第30回フード・ケータリングショー」に出展いたしました。会場ではクックチル対応の再加熱カート、作りたての温度で保管から配送まで可能な保温・保冷カートなど、フードサービスの作業性向上・合理化に寄与できる製品を展示・紹介し、当社商品の優れた性能を多くのお客さまにアピールすることができました。

今後も多数開催される展示会にフードカートを積極的に出展し、販売強化に努めてまいります。展示会への出展情報は、当社ホームページにてご確認いただけます。お近くで開催の折には是非お立ち寄り下さい。



会場での熱のこもったプレゼンテーション

会社案内VTRをリニューアル



◀ 会社案内VTR
オープニング

◀ 事業内容を
分かりやすく紹介

◀ 当社の高い技術力と
ノウハウをCGで解説

空港をビジネスの舞台とする当社は、株主の皆さまや取引先、学生の方々等に事業内容を分かりやすく、かつ臨場感と迫力をもってお伝えするために、以前より、VTRによる会社案内を重視してまいりました。2002年に初版を制作した従来のVTRは皆さまにご好評をいただいておりますが、空港やその周辺環境、当社ビジネスの変化が大きくなってきたことから、このたび全面リニューアルを行い、6月18日の定時株主総会にて披露させていただきました。CGによって当社の高い技術力とノウハウをご紹介するなど、新たな手法もふんだんに取り入れております。当社ホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧下さい。

▼ 当社ホームページでご覧いただけます

<http://www.agpgroup.co.jp/>

■ 貸借対照表

(単位 百万円)

| | 当期 2009年3月31日現在 | 前期 2008年3月31日現在 |
|----------------|--------------------|--------------------|
| 【資産の部】 | | |
| 流動資産 | 3,580 | 4,197 |
| 固定資産 | 6,922 | 6,737 |
| 有形固定資産 | 5,654 | 5,439 |
| 無形固定資産 | 63 | 75 |
| 投資その他の資産 | 1,204 | 1,223 |
| 資産合計 | 10,503 | 10,935 |
| 【負債の部】 | | |
| 流動負債 | 2,445 | 2,892 |
| 固定負債 | 2,798 | 3,147 |
| 負債合計 | 5,243 | 6,040 |
| 【純資産の部】 | | |
| 株主資本 | 5,245 | 4,874 |
| 資本金 | 2,038 | 2,038 |
| 資本剰余金 | 114 | 114 |
| 利益剰余金 | 3,092 | 2,721 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 評価・換算差額等 | 14 | 20 |
| その他有価証券評価差額金 | 14 | 20 |
| 純資産合計 | 5,259 | 4,894 |
| 負債純資産合計 | 10,503 | 10,935 |

■ 損益計算書

(単位 百万円)

| | 当期 2008年4月1日～ 2009年3月31日 | 前期 2007年4月1日～ 2008年3月31日 |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 売上高 | 11,587 | 11,655 |
| 売上原価 | 9,903 | 9,961 |
| 売上総利益 | 1,684 | 1,694 |
| 販売費及び一般管理費 | 742 | 748 |
| 営業利益 | 942 | 946 |
| 営業外収益 | 15 | 17 |
| 営業外費用 | 61 | 89 |
| 経常利益 | 895 | 874 |
| 特別利益 | 39 | 20 |
| 特別損失 | 80 | 32 |
| 税引前当期純利益 | 854 | 862 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 327 | 324 |
| 法人税等調整額 | 30 | 44 |
| 当期純利益 | 496 | 493 |

■ 株主資本等変動計算書 (2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位 百万円)

| | 株主資本 | | | | | | | 評価・換算差額等 | | | 純資産 合計 | |
|-------------------------|-------|-----------|-------------|-----------|-----------------------|-------------|-------|------------|----------------------|--------------------|-----------|-----------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | 利益剰余金 | | | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等 合計 | | |
| | | 資本 準備金 | 資本剰余金 合計 | 利益 準備金 | その他利益剰余金 別途 積立金 | 繰越利益 剰余金 | | | | | | 利益 剰余金 合計 |
| 2008年3月31日残高 | 2,038 | 114 | 114 | 137 | 80 | 2,504 | 2,721 | △0 | 4,874 | 20 | 20 | 4,894 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | 12 | | △138 | △125 | | △125 | | | △125 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | △0 | △0 | | | △0 |
| 当期純利益 | | | | | | 496 | 496 | | 496 | | | 496 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | | | | | △5 | △5 | △5 |
| 当期変動額合計 | - | - | - | 12 | - | 358 | 371 | △0 | 370 | △5 | △5 | 365 |
| 2009年3月31日残高 | 2,038 | 114 | 114 | 149 | 80 | 2,862 | 3,092 | △0 | 5,245 | 14 | 14 | 5,259 |

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位 百万円)

| | 当期 | 前期 |
|-----------------|---------------|---------------|
| | 2009年3月31日現在 | 2008年3月31日現在 |
| 【資産の部】 | | |
| 流動資産 | 3,973 | 4,527 |
| 現金及び預金 | 1,529 | 1,966 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 1,683 | 1,864 |
| たな卸資産 | - | 394 |
| 短期貸付金 | - | 0 |
| その他 | 759 | 301 |
| 固定資産 | 6,917 | 6,714 |
| 有形固定資産 | 5,655 | 5,439 |
| 建物及び構築物(純額) | 2,904 | 3,197 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,628 | 1,730 |
| その他 | 1,122 | 511 |
| 無形固定資産 | 64 | 76 |
| 投資その他の資産 | 1,198 | 1,198 |
| 投資有価証券 | 112 | 122 |
| 繰延税金資産 | 365 | 368 |
| 敷金及び保証金 | 351 | 382 |
| その他 | 368 | 325 |
| 資産合計 | 10,890 | 11,241 |

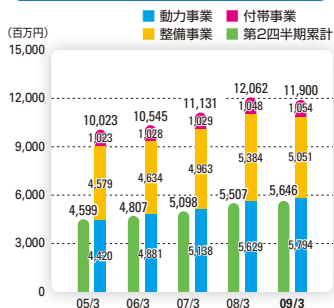
■ **資産**：流動資産は12.2%減少し、39億73百万円となりました。これは、主として現金及び預金が4億36百万円、受取手形及び営業未収入金が1億80百万円それぞれ減少したこと等によります。固定資産は3.0%増加し、69億17百万円となりました。これは、羽田空港の新国際線ターミナル地区への設備投資や電源車等のリース資産の取得等により、主として有形固定資産が2億15百万円増加したこと等によります。この結果、総資産は3.1%減少し、108億90百万円となりました。

| | 当期 | 前期 |
|-----------------|---------------|---------------|
| | 2009年3月31日現在 | 2008年3月31日現在 |
| 【負債の部】 | | |
| 流動負債 | 2,308 | 2,728 |
| 営業未払金 | 652 | 807 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 545 | 805 |
| その他 | 1,111 | 1,115 |
| 固定負債 | 3,151 | 3,456 |
| 長期借入金 | 1,613 | 2,159 |
| 退職給付引当金 | 1,311 | 1,262 |
| その他 | 225 | 34 |
| 負債合計 | 5,460 | 6,184 |
| 【純資産の部】 | | |
| 株主資本 | 5,416 | 5,037 |
| 資本金 | 2,038 | 2,038 |
| 資本剰余金 | 114 | 114 |
| 利益剰余金 | 3,263 | 2,884 |
| 自己株式 | △0 | △0 |
| 評価・換算差額等 | 14 | 20 |
| その他有価証券評価差額金 | 14 | 20 |
| 純資産合計 | 5,430 | 5,057 |
| 負債純資産合計 | 10,890 | 11,241 |

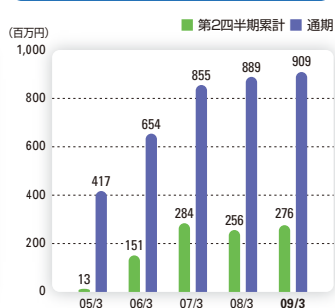
■ **負債**：流動負債は15.4%減少し、23億8百万円となりました。これは、主として1年内返済予定の長期借入金が2億60百万円、営業未払金が1億54百万円それぞれ減少したこと等によります。固定負債は8.8%減少し、31億51百万円となりました。これは、主としてリース債務が2億3百万円増加した一方で、長期借入金が5億45百万円減少したこと等によります。

■ **純資産**：純資産合計は7.4%増加し、54億30百万円となりました。これは、主として当期純利益および剰余金の配当を加減算した結果、利益剰余金が3億79百万円増加したこと等によります。

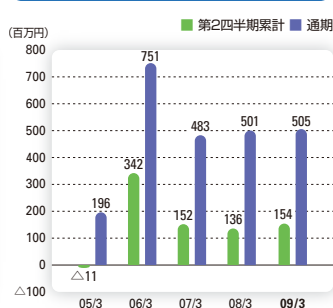
売上高



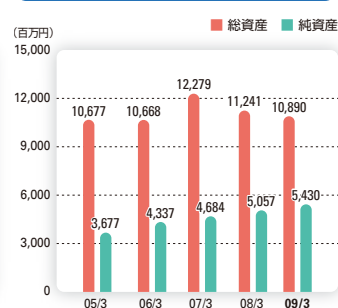
経常利益



当期純利益



総資産・純資産



■ 連結損益計算書

(単位 百万円)

| | 当期 2008年4月1日～ 2009年3月31日 | 前期 2007年4月1日～ 2008年3月31日 |
|--------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 売上高 | 11,900 | 12,062 |
| 売上原価 | 10,067 | 10,230 |
| 売上総利益 | 1,832 | 1,831 |
| 販売費及び一般管理費 | 872 | 870 |
| 営業利益 | 960 | 960 |
| 営業外収益 | 15 | 18 |
| 営業外費用 | 66 | 89 |
| 経常利益 | 909 | 889 |
| 特別利益 | 39 | 20 |
| 特別損失 | 80 | 32 |
| 税金等調整前当期純利益 | 868 | 877 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 371 | 347 |
| 法人税等調整額 | △8 | 28 |
| 当期純利益 | 505 | 501 |

■ 営業利益

売上高が減少したものの、売上原価の対売上高比率が低下した結果、前期とほぼ同レベルの9億60百万円となりました。

■ 当期純利益

営業利益は前期とほぼ同じだったものの、支払利息の減少で経常利益が増加したことにより、前期に比べて4百万円増の5億5百万円となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

| | 当期 2008年4月1日～ 2009年3月31日 | 前期 2007年4月1日～ 2008年3月31日 |
|---------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,355 | 1,406 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △852 | △1,104 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △939 | △1,125 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △436 | △823 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,966 | 2,790 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,529 | 1,966 |

■ キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前期末に比べ4億36百万円減少し、15億29百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は13億55百万円(前期比3.6%減)となりました。資金増加の主な内訳は、税金等調整前当期純利益8億68百万円、減価償却費8億24百万円、売上債権の減少額1億80百万円であり、資金減少の主な内訳は、法人税等の支払額3億30百万円、仕入債務の減少額1億56百万円等です。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は8億52百万円(前期比22.9%減)となりました。これは、主に羽田空港新国際線ターミナル地区への航空機用動力供給設備の設置、関西空港での航空機用冷暖房設備の更新、および新たに進出を果たした長崎空港の航空機用動力供給設備等有形固定資産の取得による支出9億17百万円等が行なわれた一方で、エネルギー使用合理化事業者支援国庫補助金や賃借保証金の払い戻し等の収入があったことによるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は9億39百万円(前期比16.5%減)となりました。これは、主に長期借入金の返済8億5百万円、配当金の支払い1億25百万円によるものです。

■ 連結株主資本等変動計算書(2008年4月1日～2009年3月31日)

(単位 百万円)

| | 株主資本 | | | | 株主資本合計 | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|-------|-------|-------|------|--------|------------------|----------------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | | その他有価証券 評価差額金 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 2008年3月31日残高 | 2,038 | 114 | 2,884 | △0 | 5,037 | 20 | 20 | 5,057 |
| 当期変動額 | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △125 | | △125 | | | △125 |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 | | | △0 |
| 当期純利益 | | | 505 | | 505 | | | 505 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | | △5 | △5 | △5 |
| 当期変動額合計 | - | - | 379 | △0 | 379 | △5 | △5 | 373 |
| 2009年3月31日残高 | 2,038 | 114 | 3,263 | △0 | 5,416 | 14 | 14 | 5,430 |

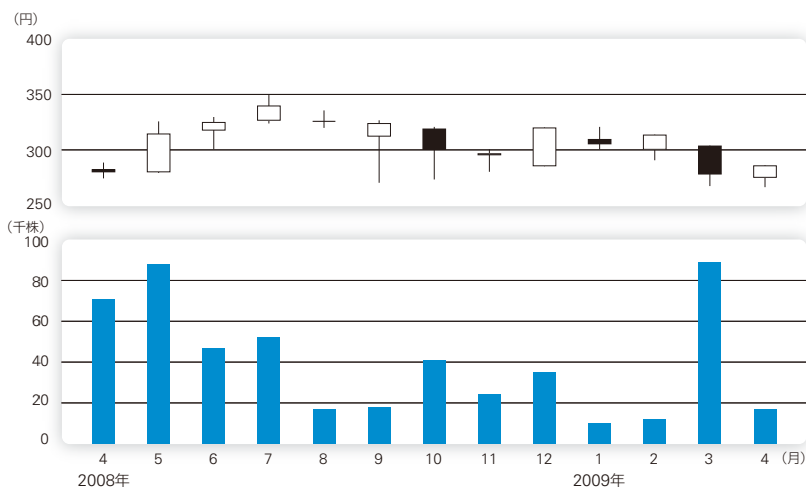
株式の状況

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 52,000,000 株 |
| 発行済株式総数 | 13,950,000 株 |
| 株主数 | 576 名 |
| 単元株式数 | 1,000 株 |

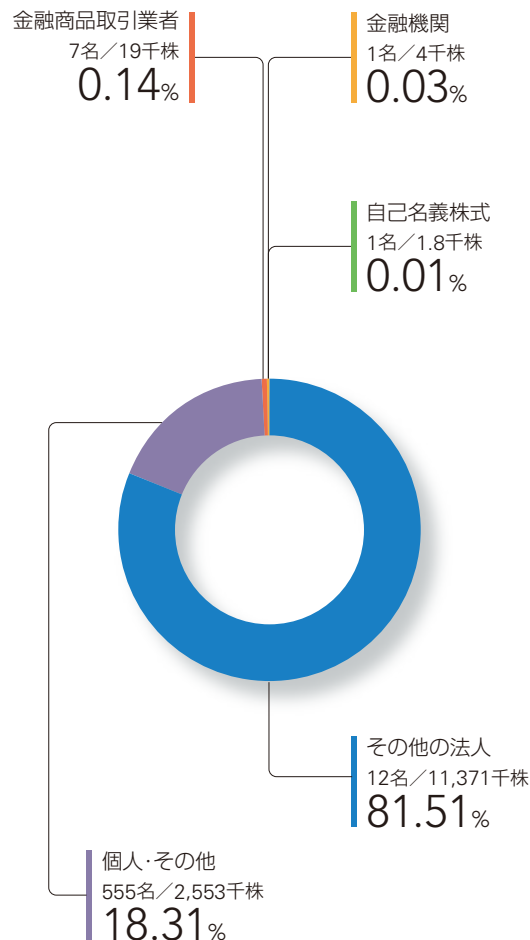
大株主

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|-------------|-------------|---------|
| 株式会社日本航空 | 4,651,000 株 | 33.34 % |
| 三菱商事株式会社 | 3,740,000 株 | 26.81 % |
| 全日本空輸株式会社 | 2,793,000 株 | 20.02 % |
| エージーピー社員持株会 | 671,000 株 | 4.81 % |
| 栗原工業株式会社 | 86,000 株 | 0.61 % |
| 森田 成一 | 80,000 株 | 0.57 % |
| 半澤 勝彦 | 77,000 株 | 0.55 % |

株価および株式売買高の推移 (月足)



株式の分布状況



■ 会社概要

| | |
|-------|--|
| 商号 | 株式会社エージーピー AGP CORPORATION |
| 本社 | 〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL 03-3747-1631 FAX 03-3747-0707 E-mail info@agpgroup.co.jp |
| 最寄駅 | 東京モノレール羽田線 整備場駅 下車3分 |
| 設立 | 1965年12月16日 ／日本空港動力株式会社設立 2000年9月1日 ／株式会社エージーピーに商号変更 |
| 資本金 | 20億3,875万円 |
| 社員数 | 191名 |
| 会計監査人 | 新日本有限責任監査法人 |

■ 役員

(2009年6月18日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 広池 君夫 |
| 常務取締役 | 杉本 学 |
| 常務取締役 | 吉野 重夫 |
| 常務取締役 | 安藤 徹 |
| 取締役 | 福田 朗 |
| 取締役 | 平林 安夫 |
| 取締役 | 小林 正樹 |
| 取締役 | 前山 俊策 |
| 常勤監査役 | 八幡 博一 |
| 監査役 | 芳賀 正明 |
| 監査役 | 穴戸 昌憲 |
| 監査役 | 河野 通秀 |

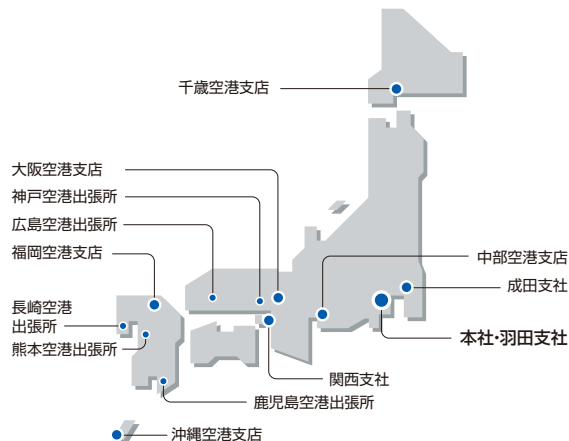
■ エージーピーグループ (連結子会社)

株式会社エージーピー沖縄
株式会社エージーピー関西
株式会社エージーピー九州

株式会社エージーピー開発
株式会社エージーピー北海道
株式会社エージーピー中部

■ ネットワーク

| | |
|----------|--|
| 本社 | 東京都大田区羽田空港一丁目7番1号 TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707 |
| 成田支社 | 千葉県成田市三里塚御料牧場1-1(日航第一ハンガービル内) TEL.0476-32-8775 FAX.0476-32-8779 |
| 羽田支社 | 東京都大田区羽田空港三丁目1番2号 TEL.03-5757-9447 FAX.03-5757-9191 |
| 関西支社 | 大阪府泉南市泉州空港南1番地(JALハンガー内) TEL.0724-56-6101 FAX.0724-56-6107 |
| 千歳空港支店 | 北海道千歳市美々(新千歳空港内) TEL.0123-46-5858 FAX.0123-24-9213 |
| 中部空港支店 | 愛知県常滑市セントレア一丁目1番地(中部空港内) TEL.0569-38-0286 FAX.0569-38-8165 |
| 大阪空港支店 | 大阪府豊中市蛍池西町三丁目555番地(大阪国際空港内) TEL.06-6856-7326 FAX.06-6855-9490 |
| 神戸空港出張所 | 兵庫県神戸市中央区神戸空港4-1 TEL.080-5075-5932 |
| 福岡空港支店 | 福岡県福岡市博多区上臼井柳井348番地(福岡空港内) TEL.092-621-9124 FAX.092-629-1974 |
| 広島空港出張所 | 広島県三原市本郷町善入寺64番31(広島空港内) TEL.0848-60-8311 |
| 長崎空港出張所 | 長崎県大村市箕島町593番地(長崎空港内) TEL.0957-27-3066 |
| 熊本空港出張所 | 熊本県上益城郡益城町小谷1802-2(熊本空港内) TEL.096-213-5315 |
| 鹿児島空港出張所 | 鹿児島県霧島市溝辺町麓822番地(鹿児島空港内) TEL.0995-64-1620 |
| 沖縄空港支店 | 沖縄県那覇市鏡水150番地(那覇空港内) TEL.098-858-0291 FAX.098-859-4229 |



■ ホームページのご紹介

当社ホームページでは、会社概要、IR情報、製品・サービスや採用情報など様々な情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、決算短信、IRハンドブック等のほか、最新のIRニュースや株価情報なども掲載しております。ぜひご覧ください。また皆さまのご意見・ご要望もお待ちしております。



<http://www.agpgroup.co.jp/>

■ 株主メモ

| | |
|----------------------|---|
| 決 算 期 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 同総会権利行使 株 主 確 定 日 | 3月31日 |
| 利益配当金支払 株 主 確 定 日 | 3月31日 |
| 基 準 日 | 毎年3月31日 そのほか臨時に必要なときは、 あらかじめ公告いたします。 |
| 公 告 掲 載 新 聞 | 日本経済新聞 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 (同送付先) | 同社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部 電話：0120-232-711 (通話料無料) |

お知らせ

1. 株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。従来同封いたしました当社専用の「配当金振込指定書」は今回から同封を取りやめております。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問合せください。
- (4) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

本年から、配当金の口座振込をご指定の方と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受取りになられる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。



〒144-0041 東京都大田区羽田空港一丁目7番11号
TEL.03-3747-1631 FAX.03-3747-0707
URL: <http://www.agpgroup.co.jp/> E-mail: info@agpgroup.co.jp

